

【訂正】訂正内容の詳細は最終ページをご覧ください。

保湿効果向上で生分解性マルチフィルムが進化  
『ビオフィレックスマルチプラス』  
水分蒸発が抑えられ作物の生育性向上に寄与

2023.09.08

～10月2日より全国で発売開始～

アキレス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:日景一郎)は、生分解性マルチフィルム(以下、生分解性マルチ)『ビオフィレックスマルチ』の機能を強化し、保湿効果を高め植物由来原材料を含有した『ビオフィレックスマルチプラス』を、2023年10月2日(月)より全国で発売します。

生分解性マルチは、地温調節や土壌乾燥防止、雑草防止など農業用マルチフィルムの基本機能に加えて、土中の微生物の働きで最終的に水と二酸化炭素に分解する性質を備えた農業用フィルムです。使用後はしっかりと鋤(す)き込むことで、ポリマルチで行われていたはぎ取りや土落とし、回収の作業が不要となります。就農人口の減少と高齢化が進む中で、省力化による生産性向上や使用済みプラスチックの廃棄コストの削減に寄与し、温室効果ガス削減などによる環境負荷低減にもつながることから国や自治体も生分解性マルチの利用拡大を推進しています。当社の生分解性マルチ『ビオフィレックスマルチ』も発売以来、全国各地でさまざまな野菜、果樹の栽培にご使用いただいています。

『ビオフィレックスマルチプラス』は、『ビオフィレックスマルチ』と比べて土壌の乾燥を防ぐ保湿効果を向上させた生分解性マルチの新製品です(詳細は後記「参考資料」)。土壌の水分蒸発が抑えられ、作物の順調な生育と収量・品質の改善に期待できます。機械展張が可能な強度と柔軟性を備え、黒、透明、銀ネズ、白黒のカラーバリエーションで地温調節や雑草防止など多様なニーズに対応。作物収穫後はしっかりと鋤き込むことで、ポリマルチでは必要となるはぎ取りや廃棄にかかる労力、コストを削減できます。廃棄物の運搬・焼却が不要で温室効果ガス排出量の削減につながります。



写真上:『ビオフィレックスマルチプラス』(黒)  
写真下:里芋栽培での使用



写真上:『ビオフィレックスマルチプラス』(白黒)  
写真下:レタス栽培での使用

『ビオフィレックスマルチプラス』は、日本バイオプラスチック協会の「生分解性プラ」(登録番号 1209)と日本有機資源協会の「バイオマスマーク」(認定番号 230082:バイオマス度 20%)の認定品で、環境配慮型製品としてお使いいただけます。当社は今後も環境配慮型製品の開発や機能向上の取り組みを積極的に進めていきます。



日本バイオプラスチック協会認定品  
登録NO.1209



バイオマス  
使用部位:フィルム  
No.230082  
日本有機資源協会認定品

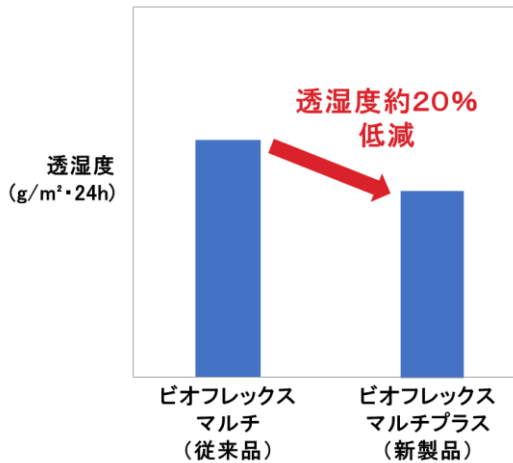
## 『ビオフィレックスマルチプラス』の製品概要

製品名	ビオフィレックスマルチプラス
発売日	2023年10月2日(月)
製品特長	<p><b>■保湿効果が向上</b></p> <p>『ビオフィレックスマルチ』と比べて土壌の乾燥を防ぐ保湿効果を向上。土壌の水分蒸発が抑えられ、作物の順調な生育と収量・品質の改善に期待できます。 (詳細は「参考資料」を参照)</p>
	<p><b>■環境にやさしい生分解性</b></p> <p>植物由来原材料を含んだ配合を採用。土壌中の微生物により最終的に水と二酸化炭素に分解されます※1。 日本バイオプラスチック協会の「生分解性プラ」認定(登録番号 1209)と日本有機資源協会の「バイオマスマーク」(認定番号 230082:バイオマス度 20%)を取得※2しています。 ※1 生分解性は、土壌の種類や環境により異なります。 ※2 白黒については、バイオマスマーク 20 の認定品ではありません。</p>
	<p><b>■省力化による生産性向上やコスト削減に貢献</b></p> <p>作物収穫後はしっかりと鋤き込むことで、ポリマルチでは必要となるはぎ取りや廃棄の労力、コストを削減できます。廃棄物の運搬・焼却が不要で温室効果ガス排出量の削減につながります。</p>
	<p><b>■多様な用途、作物に対応</b></p> <p>黒、透明、銀ネズ、白黒のカラーバリエーションで地温調節や雑草防止など多様なニーズに対応。野菜、果樹など幅広い作物の栽培に使用できます。</p>
規格寸法	厚さ 0.016~0.02mm × 幅 95~210cm × 長さ 200~800m(製造可能範囲)
色	黒、透明、銀ネズ、白黒
希望小売価格	オープン価格
販売地域	全国
ホームページ	【アキレス株式会社 コーポレートサイト】 <a href="https://www.achilles.jp">https://www.achilles.jp</a>

<参考資料>

1. 『ビオフィレックスマルチプラス』の保湿効果

保湿効果の評価として、JIS Z 0208 条件 B (40°C × 90%RH) を参考とした透湿度試験 (当社法) を行い、従来品『ビオフィレックスマルチ』と比較し新製品『ビオフィレックスマルチプラス』の保湿性の効果向上を確認いたしました。試験の結果、『ビオフィレックスマルチプラス』の透湿度が従来品より約 20% 低減し、水蒸気バリア性能が向上していることを確認。これにより、土壌の水分蒸発が抑えられると判断いたしました。



JIS Z 0208 条件 B (40°C × 90%RH) を参考とした透湿度試験 (当社法)

※測定値であり、保証値ではありません。

2. 『ビオフィレックスマルチ』と『ビオフィレックスマルチプラス』の分解メカニズム

土中の微生物によって水と二酸化炭素に分解されます。

※分解速度は天候、地温、土壌、地域、季節などにより異なります。

生分解性マルチの分解メカニズム



<訂正内容>

先日 8 月 23 日(水)にお送りしたニュースリリースに記載している内容に誤りがありました。つきましては、以下のように訂正し、再配信させていただきます。  
関係者各所の皆様に、心からお詫び申し上げます。

<訂正箇所>

原稿 1 ページ目:

(誤)水分管理しやすく作物の生育性向上に寄与

↓

(正)水分蒸発が抑えられ作物の生育性向上に寄与

原稿 2 ページ目:

(誤)「バイオマスマーク」(認定番号 230082:バイオマス度 20%)を取得

↓

(正)「バイオマスマーク」(認定番号 230082:バイオマス度 20%)を取得<sup>※2</sup>

※2 白黒については、バイオマスマーク 20 の認定品ではありません。

原稿 3 ページ目:

(誤)JIS Z 0208B(40°C×90%RH)による透湿度試験を行い

↓

(正)JIS Z 0208 条件 B(40°C×90%RH)を参考とした透湿度試験(当社法)を行い

(誤)従来品より約 40%低減し、水蒸気バリア性能が大幅に向上している

↓

(正)従来品より約 20%低減し、水蒸気バリア性能が向上している

<補足>試験方法の記載誤りに伴い、<参考資料>1.『ビオフィレックスマルチプラス』の保湿効果について、訂正および追記をしています。

<お問い合わせは 農業資材販売部 まで>